



■ ■ 薬は水またはぬるま湯で飲むのが基本です ■ ■

薬剤科 中野 宏

みなさんは薬を何で飲んでいますか？お茶や牛乳、コーヒーやジュースなどで飲んでいる人もいます。薬は飲みにくかったり、苦かったりもしますが、水又はぬるま湯以外の飲み物で薬を飲んでもよいのでしょうか？

水又はぬるま湯以外の飲み物で薬を飲んでしまうと、薬の効果が低下したり、逆に効果が強くなって思わぬ症状が出るという危険もあります。全ての薬でそのような現象が起こるわけではありませんが、薬の効果への影響を考慮すると「薬は水又はぬるま湯で飲む」ことが基本であり無難といえるでしょう。水又はぬるま湯で飲むことで薬が適切に吸収されやすく、そのため薬自体も水又はぬるま湯で服用することを前提に作られている場合が多いからです。

例えば、薬と飲み物の組み合わせが危険なものとして以下が挙げられます。

① グレープフルーツジュースとカルシウム拮抗剤(降圧剤)

降圧剤の効能である「血管拡張作用」が強くなり、頭痛・動悸などの症状を引き起こすことがあります。

② 牛乳と抗菌薬(テトラサイクリン系抗生物質、ニューキノロン系抗菌薬)

抗菌薬の有効成分が胃で牛乳のカルシウムと結合し、体内への薬の吸収や作用を低下させます。

③ 青汁とワルファリン

青汁に含まれるビタミンKがワルファリンの作用を弱めてしまいます。

以上の三つの例はごく一例にすぎません。お酒やビールなどのアルコール飲料も薬の作用に影響を与えたり、副作用を高めたりするので危険です。このような服用中の薬との良くない組み合わせの飲み物は他にいくつもありますので、不安な場合は薬剤師にご相談下さい。

お知らせ

● ノルディックウォーク倶楽部
第2土曜日開催

日時 平成29年10月14日(土) 14:00～
平成29年11月11日(土) 14:00～

場所 三宿病院集合
世田谷公園周辺で
実施します。



● ロコモ美立体操
(主催：クリスタルスポーツクラブ)

日時 平成29年10月18日(水) 18:00～19:00
平成29年11月15日(水) 18:00～19:00

場所 せたがや がやがや館 4階運動室
料金 540円(税込)
講師：渡倉 公治先生

帝京科学大学総合教育センター 特任教授
三宿病院整形外科 医師

